

[インデックスに戻る](#)

## 1. 方程式と不等式

### 1-3. 方程式と不等式

#### 1-3-1. 1次方程式と1次不等式

##### 1-3-1-2. 不等号と不等式

二つの実数  $a$  と  $b$  について、 $a$  が  $b$  より大きいことを、記号で「 $a > b$ 」と表す。また、 $a$  が  $b$  より小さいことを「 $a < b$ 」と表す。

「 $a > b$  または  $a = b$ 」を記号で「 $a \geq b$ 」と表す。これは「 $a$  が  $b$  以上である」といっても同じことである。また、「 $a < b$  または  $a = b$ 」を記号で「 $a \leq b$ 」と表す。これは「 $a$  が  $b$  以下である」といっても同じことである。

$a$  が  $b$  より小さく、 $b$  が  $c$  より小さいとき、記号で「 $a < b < c$ 」と表す。 $a$  が  $b$  より小さく、 $c$  が  $b$  より小さいときは、「 $a < b > c$ 」とは書かない。

記号  $<$ 、 $>$ 、 $\leq$ 、 $\geq$  を **不等号** という。

例

$$-3 < 2, -2 > -3, -3 < 0 < 2$$

平方根の大小関係については、次のことがいえる。

$$a > b > 0 \text{ のとき } \sqrt{a} > \sqrt{b}$$

例

(ア)  $\sqrt{2} < \sqrt{3}$

(イ)  $2 = \sqrt{4}$  であるから  $2 > \sqrt{3}$

大小関係を、不等号を用いて表した式を **不等式** という。

例

「ある数  $x$  の2倍に1を加えた数は、 $x$  の5倍より大きい」を不等式で表すと、

$$2x + 1 > 5x$$

[インデックスに戻る](#)